

道

徽水孤山

散り染めし 星より白き 桜かな

大山や ガスの切れ間に 夏の海

大山や ガスの切れ間に 青田かな

赤とんぼ 群れ泳ぐかな 雲の海

千里浜や 歩くに長し 秋の暮れ

月光を 映して寄せる 夜半の波

初雪や 彩る山も 寒かろう

コスモスや 細き山道 ひとり旅

鐘の音にコスモス揺るる 飛驒の里

忘れ居いし 友を思いし 帰り花

霧霞む 町に帰りし つばめかな

田植あと 蓮華埋もれし 野良仕事

窓のそと 家建ち込みて 暑さ増す

梅雨の海 黒き島影 白き鳥

白鷺や 梅雨日さしたる 黒き島

川原に 鳥影黒き 初夏の暮れ

夕風に 香るくちなし 涼をよぶ

蝉がなく 蝉が泣きやみ 昼寝する

霧雨に かすむ灯火 立つ瀬音

霧深し 錦帯橋に ただ瀬音